

日本藻類学会第47回大会のご案内

—オンライン北海道大会—

日本藻類学会第47回大会（オンライン北海道）を下記の要領で開催いたします。

2021年大会から3度目のオンライン大会となります。対面での大会を皆さん期待されていたと思いますが、新型コロナウイルス感染症の流行の行方がまだ見通せず、オンラインで開催することといたしました。北海道に来ていただくことができず大変残念ではありますが、オンライン大会のメリットもあると思います。皆様の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

日本藻類学会第47回大会実行委員会
大会会長：小亀一弘，実行委員長：仲田崇志

1. 日程

2023年3月20日（月）：ワークショップ
3月21日（火・祝）：口頭・ポスター発表
公開シンポジウム
3月22日（水）：口頭・ポスター発表
総会・表彰式・懇親会

2. オンライン会場（予定）

メインページ：LINC Biz
口頭発表・ワークショップ：Zoom
ポスター発表：LINC Biz・Zoom
公開シンポジウム：Zoom・YouTube
懇親会：システム検討中

3. 大会参加費

一般：3,500円
学生：1,000円
*高校生発表者（複数・中学生以下も可）と指導教員は大会参加費免除

4. 参加および発表申込

- 大会参加は、大会webページ (http://www.sourui.org/annual_meeting/JSP_47th/) の参加申込フォームからお申し込みください。
- 一般発表者（日本藻類学会会員に限ります）は、下記の要領に沿って発表要旨原稿を作成し、電子メールの添付書類でお送りください。発表1件ごとに口頭/ポスターの希望を記入していただきますが、プログラムの都合上ご希望に添えない場合があることをあらかじめご了承ください。口頭発表は1人1件とします。
- 大会参加費は下記の「ゆうちょ銀行口座」にお振り込み

ください。手数料は振込人負担でお願いします。

【口座名称(漢字)】日本藻類学会第47回大会実行委員会
【口座名称(カナ)】ニホンソウルイガツカイダイヨンジュウナナカイタイカイシ

【口座記号番号】02750-4-51695

他の金融機関からの振り込みの場合には以下の情報が必要です。

【店名】二七九（ニナナキユウ）【店番】279

【預金種目】当座【口座番号】0051695

(4) 締め切り

参加登録（発表者）：2023年1月16日（月）

発表要旨原稿送付：2023年1月23日（月）

参加登録（発表者以外）：2023年2月20日（月）

*参加費の振り込みは、参加登録前をお願いいたします。

(5) 注意事項

演者の許可なく、発表を複製・ダウンロード・録画・録音することを禁止します。ご理解の上、お申し込みください。

5. 総会・編集委員会・評議員会

総会：3月22日（水）の一般発表後に開催します。学会員以外の参加はご遠慮ください。

編集委員会・評議員会：大会会期中の実施予定はありません。

6. 一般発表

口頭発表はオンライン会議ツール Zoom の画面共有機能を使用し、例年と同様、2会場（チャンネル）で同時進行する予定です。ポスター発表は LINC Biz にポスターを提示し、LINC Biz のチャットと Zoom を使って質疑への応答をしていただく予定です。

これらのオンラインシステムの詳細は2月中旬にプログラムの公開とともに大会webページ上などに掲載し、大会期間中にも簡単に説明するほか、事前に個別の接続テストを行う予定です。

7. 藻類学ワークショップ

「メタバーコーディングの基礎から応用まで」

次世代シーケンサーが登場してから15年以上経ちます。最近では外注費用が徐々に低下しているため、メタバーコーディング解析に挑戦してみる良いタイミングかもしれません。メタバーコーディング解析を既に研究に取り入れておられる方にも、導入を検討されている方に

も有益な情報をお届けできるように、経験豊富な講師の先生方に基礎から応用まで解説していただきます。どうぞ奮ってご参加ください。

開催方法：Zoom（大会参加者は事前登録不要）

3月20日（月）13:00–17:10（予定）

13:00–13:05 挨拶と趣旨説明（企画人：秋田 晋吾）

13:05–14:45 「演題未定」

講師：田邊 晶史（東北大学・大学院生命科学研究科）

14:45–15:05 質疑応答

15:05–15:10 休憩

15:10–16:50 「microeukaryote メタバーコーディング解析の現状と課題」（仮）

講師：長井 敏（国立研究開発法人水産研究・教育機構・水産技術研究所）

16:50–17:10 質疑応答

企画人：秋田 晋吾（北海道大学・大学院水産科学研究院）
sakitam@fish.hokudai.ac.jp

8. 公開シンポジウム

「藻類学の面白さを伝える・知る」（仮）

藻類学は非常に魅力的な学問ですが、藻類学に興味を持った一般の方々が専門家のお話に触れる機会はまだまだ限られています。そこで今回はオンライン大会ならではの試みとして、YouTubeを通じた公開シンポジウムを開催します（大会参加者はZoom上で質疑応答にも参加できます）。講演者の皆様には藻類の魅力や藻類学の研究についてお話しいただきます。講演内容は教材として誰もが利用できるように、web上に保存・公開する予定です。またYouTubeなどで生物学に関するコンテンツを提供しているクリエイター集団の「ゆるふわ生物学」さんにも参加していただき、高校生から専門家まで楽しめるシンポジウムを予定しています。

開催方法：YouTube（一般公開・アーカイブも公開予定）・Zoom（大会参加者のみ）

3月21日（火・祝）午後（時間未定：口頭発表終了後）

1. 挨拶と趣旨説明（企画人：土金 勇樹・仲田 崇志）

2. 堀口 健雄（北海道大学・名誉教授）

藻類～その驚きの多様性，そして彼らの進化について（仮）

3. 山下 翔大（国立遺伝学研究所・遺伝形質研究系）

単細胞生物から多細胞生物への進化を“群体性”緑藻で解き明かしたい！

4. 加藤 亜記（広島大学・大学院統合生命科学研究科）
サンゴのような藻「サンゴモ」一石になる海藻の多様性—

5. 加藤 将（新潟大学）・高橋 昂平（東京大学）・丸川 祐佳（株式会社ユーグレナ）ほか有志
教材用藻類動画の紹介 それぞれ「シャジクモの採集風景」, 「ユーグレナのすじりもじり運動」,

「*Pleodorina starii* の遊泳」などを予定しています。

*動画を提供していただける方がいらっしゃいましたら、企画人の土金までご連絡ください。

6. ゆるふわ生物学

内容未定。内容が決まりましたら大会 web ページなどでお知らせします。楽しみにお待ちください。
ゆるふわ生物学 公式サイト：<https://www.yurufuwa-biology.com/>

ゆるふわ生物学チャンネル：<https://www.youtube.com/channel/UCjo-hXH1PX8Ls4sj6OAAacug/>

企画人：土金 勇樹（東京大学・大学院理学系研究科）

tsuchikaneyuki@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

仲田 崇志（北海道大学・大学院理学研究院）

naktak@sci.hokudai.ac.jp

9. 授賞式・懇親会

3月22日（水）の総会終了後にZoomにて学会各賞の授賞式を予定しています。その後、懇親会（システム検討中）を行います。

10. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式：MS-Word形式のファイルを電子メールに添付してお送りください。

ファイル名：「発表要旨（発表第一著者の氏名。複数あれば数字で区別）」

例：「発表要旨（北海道藻子 2）」

記載内容：発表者氏名と演題（掲載時には冒頭に発表番号が入ります）の後ろに1行あけて要旨本文を、また改行して（ ）内に所属を記入してください。掲載時には原則として1行あたり全角27文字で30行となります（1行アキを含む）。合わせておおむね全角700文字相当までが目安となります。藻類70巻1号掲載の発表要旨も参考にしてください。

共著と所属の表示：共著の場合は演者名の前に○をつけ、所属が異なるときは各著者名の後ろに上付き数字を付し、所属ごとに区別してください。

句読点：和文中では全角の「，」「。」を使用してください。
学名表示：属名と形容語（種小名など）は斜体（イタリック）で表示してください。

注意：著者校正はありませんので、十分確認した上で投稿してください。なお、フォーマット等を大会実行委員会で修正する場合があります。

原稿送付先：sourui2023hokkaido@gmail.com（1月23日締切）

メール件名：「発表要旨（発表の筆頭著者氏名）」

例：「発表要旨（北海道藻子）」

11. 発表形式

(1) 口頭発表

時間：切り替えの時間を含め、1人15分（目安：発表12分、質疑応答2分）です。

従来通り PowerPointなどで作成していただき、オンライン会議ツール Zoomの画面共有機能を使用します。

(2) ポスター発表

ポスターは静止画像（JPEG形式）のアップロードにより掲示していただきます。アップロードの期限は後日webページに掲載します。画像の枚数や形式は自由です。スライドにナレーションや自分の映像を追加したMP4形式の動画（1ファイルの容量上限100MB、複数ファイルも可）をアップロードし、オンデマンドの説明とすることも可能です。

一般発表のポスターは会期中いつでも閲覧できますが、発表者は指定された時間帯に必ず質疑への応答をお願いします。質疑応答はZoomのブレイクアウトルームを使って実施します。

(3) 日本藻類学会学生発表賞について

日本藻類学会学生発表賞選考実施要領 (<http://sourui.org/records/materials/日本藻類学会学生発表賞要領.pdf>)に基づき、大会における学生会員の優れた研究発表に対して本賞を授与することにより、学会活動に対する参加意欲を高めることを目的として実施します。

学生会員（国内・外国）を演者とする大会での研究発表を対象とし、大型藻分野および微細藻分野のそれぞれについて、口頭発表とポスター発表を個別に表彰します。分野および発表方法を問わず、過去の受賞者の応募および受賞を妨げません。

応募される方は、参加申込フォームの日本藻類学会学生発表賞応募欄に○を記入して下さい。口頭発表・ポスター発表合わせて1人1件まで応募を認めます。

12. 高校生ポスター発表

高校生に藻類学諸分野の専門家や学生との交流の機会を持ってもらい、関心を深めてもらうことを目的としています。なお、高校生ポスターの発表者・引率者は、オンラインで行われている学会発表を自由に視聴できます。

高校生ポスター発表は、3月21日（火・祝）（希望があれば22日でも可）の、通常のポスター発表と同じ時間帯に行います。ポスター作成方法は上記の発表形式を参照してください。高校生発表者（複数名も可）と指導教員は大会参加費が免除されます。高校生ポスター発表はメールにてお申し込みを受け付けます。メールタイトルを「藻類学会高校生発表申込み」とし、以下の情報をメールにて1月16日（月）までに大会実行委員会にお送りください。

代表者（指導教員）の氏名、学校名、連絡先電話番号（学校でも可）、電子メールアドレス、発表者全員の氏名、発表タイトル

*希望があれば、中学生以下の発表も同様に受け付けます。

13. 第47回大会実行委員会と問い合わせ先

大会会長：小亀一弘（北海道大学・大学院理学研究院）

実行委員長：仲田崇志（同・大学院理学研究院）

会計：四ツ倉典滋

（同・北方生物圏フィールド科学センター）

実行委員：

秋田晋吾（同・大学院水産科学研究院）

阿部剛史（同・総合博物館）

市原健介（同・北方生物圏フィールド科学センター）

長里千香子（同・北方生物圏フィールド科学センター）

堀之内祐介（同・北方生物圏フィールド科学センター）

山口愛果（同・大学院理学研究院）

日本藻類学会第47回大会実行委員会事務局：

sourui2023hokkaido@gmail.com

14. 大会webページなど

大会関連の情報は、随時、日本藻類学会大会webページに掲載します。

http://www.sourui.org/annual_meeting/JSP_47th/

また、Twitter上でもwebページの更新情報などを随時発信します。皆様のフォローをお願いいたします。

Twitter：https://twitter.com/jsp47_sourui